

(別 紙)

2022年度事業計画

1 事業方針

近年の人口減少・少子高齢化や大都市への一極集中、気候変動と自然災害の激甚・頻発化、そして新型コロナウイルス感染症は、生産から加工、流通、消費に至る「食料システム」の持続可能性に警鐘を鳴らしている。

こうしたなか、農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」では、持続可能な食料システムの構築を目的に、2050年までに農林水産業のCO₂ゼロエミッションの実現や、化学農薬・化学肥料の大幅な使用量削減といった意欲的な目標を定められた。

その実現のためには、消費者や流通事業者などあらゆる段階の関係者が同戦略を理解し、農業・農村の価値や魅力を認識することで、生産物の価値が適切に評価される仕組みが必要である。

このため、観光農園や農家民宿、農産物の加工販売、消費者との交流に先進的に取り組む「農のふれあい交流経営者協会」では、相互研鑽に励むとともに、都市と農村の交流深化をさらに進めることで、自らの経営を発展をさせつつ、農業・農村の振興に寄与していくものとする。

以上のことから、農のふれあい交流経営者協会は次のことに取り組むこととする。

2 事業計画

(1) 諸会議の開催

①通常総会

今年度の事業計画・収支予算等を協議・決定するため、総会を開催する

②役員会

事業方針及び重要事項について協議するため、役員会を開催する。

(2) 研究会の開催

優良経営の視察や会員の情報交換の促進を図るため、現地研究会やウェブ研究会を行う。

(3) 女性や青年後継者の交流促進

経営を担う者として、女性や青年後継者も含めて、広く会員相互の交流を促進する。

(4) 全国農業経営者研究大会等への参加

全国農業経営者協会等が主催する全国農業経営者研究大会をはじめとする各種企画に協力するとともに会員に参加を呼びかける。

(5) 情報活動の実施等

全国農業新聞等への記事掲載やホームページ・SNS等の活用により、都市農村交流をめぐる動きや会員の動向等について情報発信し、都市農村交流の発展に寄与する。また、農業の魅力や当協会の活動について、消費者に向けたPR活動を実施する。

(6) 要望等の農政活動

都市と農村交流の確立・社会的地位の向上のため、関係各方面との折衝、懇談会などを実施する。

(7) 会員への情報発信

上記活動で得た知見や農政情報などを共有するため、会員に対してメール等で定期的に情報発信を行う。